

建築と社会

1

歴 史 特 集

1 9 5 7 年 1 月 号 目 次

吉 村 邸 古建築分科委員会撮影……………20

作 品 作 風

神 戸 国 際 会 館……………22

神 戸 米 国 総 領 事 館……………32

建 築 の 眼……………40

本 文

1957年と1857年

(新ゴシック論時代) ……鳥田 家弘……………41

日本の古建築における基準寸法……………大森 健二……………45

明治以前における

建築生産の諸形態について……………川上 貢……………48

ア ン ケ ー ト……………52

戦前・戦中・戦後と世代を異にする建築家は
学窓を出たとき何を考えていたか

執 筆 者： 竹腰健造・村野藤吾・滝沢真弓

東畑謙三・鴻池藤一・小川 正・足立 孝

光安義光・菊竹清訓・羽藤文男・葉袋公明

法隆寺再建非再建

論争の結末とその後……………山本 栄吾……………58

技 術 講 座

姫路城天主閣群の振動実験……………石崎 潑雄……………61

設 備 原 論 Q・A…………… 関西設備原論研究会……………65

1. 壁の結露や湿りを防ぐには

どうすればよいか

2. 風があれば寒く感ずるが、

その温感に及ぼす影響はどれ程か？

会 合 便 り……………68

訂正 前月号(12月号)61頁の佐藤重夫氏の「畳表について」の文中、右段上より4行目の杉永は松永が正です。また同じく10行目の藁草は七島草が正です。筆者より訂正方お申し入れがありましたので、つつしんで御訂正します。

建 築 と 社 会

第 3 8 集 ・ 第 1 号

売 価 1 部 1 3 0 円 ・ 送 料 共

昭 和 3 2 年 1 月 2 0 日 印 刷

昭 和 3 2 年 1 月 2 5 日 発 行

発 行 所 社 団 法 人 日 本 建 築 協 会

大 阪 市 東 区 北 浜 3 丁 目 3 7

電 話 北 浜 @ 9 6 4 8 ・ 9 6 4 9 ・ 9 6 4 0 番

振 替 口 座 大 阪 3 9 9 7 5 番

発 行 人 沖 田 誠 一

編 集 人 松 井 昭 光

印 刷 所 株 式 会 社 研 文 社

大 阪 市 北 区 堂 山 町 6 6

電 話 @ 2 0 9 1 ~ 3 番

印 刷 者 網 野 栄